

令和2年度 事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報 <input type="checkbox"/> 位置付けられている計画等または該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1~2個記入してください。											整理番号	045							
事務事業名	認知症高齢者見守り事業				補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input checked="" type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単			終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない		予算	会計名	介護保険特別会計		款	項	目	事業
担当部	保健福祉部	担当課	幸せ長寿課		担当係	支援係									3	3	2	5	
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市高齢者プラン 老人福祉計画決定・第7期介護保険事業計画)				根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 介護保険法, 介護保険法施行令, 介護保険法施行規則) <input checked="" type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: 地域支援事業実施要綱, 認知症施策推進総合戦略会議(新オレンジプラン)) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市行方不明高齢者SOSボランティア事業実施要綱)													

2 事務事業の概要 <input type="checkbox"/> 予算事業全体について記入して下さい。																		
対象	市内在住、在学、在勤で介護予防・認知症・ボランティア活動に関心のある者など																	
目的	認知症について多くの方に理解していただき、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らしていることのできる社会を実現する																	
内容・手段	全戸配布のチラシ、ホームページ、地域ケア個別会議等で周知活動を図っている。 【行方不明高齢者SOSボランティア養成研修】年1回養成研修を実施。 【認知症サポーター養成講座】養成依頼があれば随時実施。																	

3 事務事業の主たる成果指標 <input type="checkbox"/> 数値目標の設定が困難な場合は、文言目標でも結構です。なお、設定が困難な事業は空欄とし、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。																		
指標名	行方不明高齢者SOSボランティア登録者数および認知症サポーター数	単位	人	目標値	(SOS)300 (認サ)3,000	目標年次	令和2	年度		指標及び目標値設定の考え方(または設定できない理由)	高齢者が認知症になっても安心して生活を続けられるようにするためには、地域住民に対し、認知症に対する正しい知識を深めるとともに、高齢者の見守り及び生命・身体の安全並びに家族等への支援等が必要である。よって行方不明高齢者SOSボランティア登録者数および認知症サポーター数の人数を指標とする。(高齢者プランでも同じ目標をあげている)							

4 事務事業の実績 ①																			
平成29年度																			
決算額	134,338		円	内訳	特定財源	108,478	円	一般財源	25,860	円	目標に対する実績値			人	(住民一人あたりの行政コスト)	2		円	
平成30年度																			
決算額	259,388		円	内訳	特定財源	209,456	円	一般財源	49,932	円	目標に対する実績値	(SOS)182 (認サ)1,937			人	(住民一人あたりの行政コスト)	4		円
令和元年度																			
決算額	281,172		円	内訳	特定財源	227,046	円	一般財源	54,126	円	目標に対する実績値	(SOS)222 (認サ)1,982			人	(住民一人あたりの行政コスト)	5		円
2年間の主な事業内容(実績)																			
前年度(平成30年度)									今年度(令和元年度)										
◆行方不明高齢者SOSボランティア養成研修 ・周知活動 ・養成研修に伴う講演、寸劇等の依頼 ・ボランティア登録および管理 ◆認知症サポーター養成講座 ・周知活動 ・養成講座 ・教材やオレンジリングの管理 ・認知症サポーター養成登録および管理									◆行方不明高齢者SOSボランティア養成研修 ○周知活動 ・チラシの全戸配布 ・市ホームページ ・地域ケア個別会議参加者への周知 ○養成研修 ・講演、寸劇等の依頼 ・受講者のボランティア登録および管理 ◆認知症サポーター養成講座 ○周知活動 ○養成講座 ・教材やオレンジリングの管理 ・受講者のサポーター登録および管理										

5 担当課評価 ② <input type="checkbox"/> 実施したことによる成果や課題を記入してください。	
成果	目標未達成
成果内容分析	行方不明高齢者SOSボランティア登録者数は令和元年度の目標値235人に対し222人とおおむね目標の水準に到達したが、認知症サポーター登録者数は目標値2,560人に対して1,982人で、目標値を大きく下回ったため、目標未達成とした。
課題	行方不明高齢者SOSボランティアについては、これまで新規ボランティアの養成を行ってきたが、初期の登録者が5年目を迎える令和2年度よりフォローアップ研修を実施していく。認知症サポーターについては、主に担当係の職員等が養成講座の講師役となる「認知症キャラバンメイト」を努めてきたが、受講者の要望に対し柔軟に対応できるよう、職員以外の認知症キャラバンメイトとの連携を検討する必要がある。

6 担当部長評価 ③ <input type="checkbox"/> 担当部長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	今後、増えゆく認知症高齢者の見守りについては、担当課評価のとおり、認知症の熟度を図りながら、支援ボランティアを育成することが重要である。また、認知症の周知を行い、新たな市民を巻き込むことも併用しながら、支援ボランティアの育成に努めていただきたい。

7 実施計画 ④ <input type="checkbox"/> 今後3年間について、何をどの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																			
年度	令和2年度					令和3年度					令和4年度								
事業内容	◆行方不明高齢者SOSボランティア養成研修 ○周知活動 ・市ホームページや全戸配布のチラシによる市民への周知 ・地域ケア個別会議参加者への周知 ○養成研修 ・講演、寸劇等の依頼、受講者のボランティア登録および管理 ○フォローアップ研修 ・講演、寸劇等の依頼 ◆認知症サポーター養成講座 ○周知活動 ・市ホームページや全戸配布のチラシによる市民への周知 ○養成講座 ・教材やオレンジリングの管理 ・受講者のサポーター登録および管理					◆行方不明高齢者SOSボランティア養成研修 ○周知活動 ・市ホームページや全戸配布のチラシによる市民への周知 ・地域ケア個別会議参加者への周知 ○養成研修 ・講演、寸劇等の依頼、受講者のボランティア登録、管理 ○フォローアップ研修 ・講演、寸劇等の依頼 ◆認知症サポーター養成講座 ○周知活動 ・市ホームページや全戸配布のチラシによる市民への周知 ○養成講座 ・教材やオレンジリングの管理 ・受講者のサポーター登録および管理 ○フォローアップ研修 ・認知症の知識の復習、具体的な接し方の学習など					◆行方不明高齢者SOSボランティア養成研修 ○周知活動 ・市ホームページや全戸配布のチラシによる市民への周知 ・地域ケア個別会議参加者への周知 ○養成研修 ・講演、寸劇等の依頼、受講者のボランティア登録、管理 ○フォローアップ研修 ・講演、寸劇等の依頼 ◆認知症サポーター養成講座 ○周知活動 ・市ホームページや全戸配布のチラシによる市民への周知 ○養成講座 ・教材やオレンジリングの管理 ・受講者のサポーター登録および管理 ○フォローアップ研修 ・認知症の知識の復習、具体的な接し方の学習など								
	成果指標	指標名	行方不明高齢者SOSボランティア登録者数および認知症サポーター数	単位	人	目標値	(SOS)300 (認サ)3,000	指標名	令和2年度に作成する常総市高齢者プラン(第8期計画)の評価指標による	単位	人	目標値	—	指標名	令和2年度に作成する常総市高齢者プラン(第8期計画)の評価指標による	単位	人	目標値	—
	予算額	歳出	計			497	千円	歳出	計			500	千円	歳出	計			500	千円
			特定財源			401	千円		特定財源			403	千円		特定財源			403	千円
歳入		一般財源			96	千円	歳入	一般財源			97	千円	歳入	一般財源			97	千円	
		計			497	千円		計			500	千円		計			500	千円	

8 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長評価のとおりでよい。 今後も認知症高齢者は増加していくと予想されることから、他の支援事業と連携し効果的に事業を展開していただきたい。また、認知症に関する周知に加え、支援ボランティアの育成・確保に努めていただきたい。	

9 最終評価(行政改革推進本部) ⑤	
事務事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	認知症の方が安心して暮らせる社会を目指すため、偏見をなくすことや支援ボランティアの育成を今後も進めていただきたい。

10 事務事業の改善点と理由 ⑥ <input type="checkbox"/> 実施計画のみ作成する場合も記入してください。	
事業内容	